令和3年度こまき応援寄附金の状況報告について

全国の皆様から多くのご寄附をいただき感謝申し上げます。令和3年度におけるご寄附の 受入実績及び活用状況について、以下のとおり報告いたします。

【令和3年度 寄附受入実績】

寄附件数: 47, 479件 寄附金額: 1, 319, 330, 851円

活用コース		件数	寄附金額
1	こども夢・チャレンジ、教育応援コース	19,052 件	502,746,000 円
2	お年寄りや障がい者にやさしいコース	4,309 件	136,676,000 円
3	環境にやさしいまちづくりコース	4,769 件	142,299,000 円
4	文化の薫るまちづくりコース	1,694 件	57,368,000 円
5	スポーツに親しむまちづくりコース	1,060 件	39,620,851 円
6	市長におまかせコース	16,620 件	438,621,000 円
7	その他	2 件	2,000,000 円
	活用コース合計	※47,479 件	1,319,330,851 円

※寄附件数と、活用コース合計件数が異なるのは、1申込で複数コースお選びいただいた方もいるためです。

皆様からいただいた大切な寄附金はお選びいただいたコースに合わせて各種基金に積立て、 翌年度以降の事業に活用します。

【令和3年度 寄附の活用実績】

皆様からいただいた寄附金は、令和3年度に行った次の事業に事業費の一部として使用させていただきました。

①こども夢・チャレンジ、教育応援コース

- ⑥市長におまかせコース
- ⑦その他

(こども・夢チャレンジ基金および次世代教育環境整備基金へ積み立て)

くこども・夢チャレンジ基金>

【活用事業】学習支援事業「駒来塾」

【事業費】2,589,946円

中学生を対象に、教員 0B や教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう「駒来塾」を平成 29 年 8 月に開講し、「駒来塾」の活動事業の一部に使用しました。

対象者:経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生

対象地区:東部地区:篠岡中学校・桃陵中学校・光ヶ丘中学校

北里地区:北里中学校・小牧西中学校 味岡地区: 味岡中学校・岩崎中学校 小牧地区: 小牧中学校・応時中学校

実施場所:東部市民センター・北里市民センター・味岡市民センター・中部公民館

開催時期:毎週木曜日 開催回数:全42回

参加者数:東部地区12名、北里地区15名、味岡地区17名、小牧地区17名 合計61名

【活用事業】ひとり親家庭等入学支援金支給事業 【事業費】3,600,000円

ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図り、生活の向上に資することを目的として、ひとり 親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の助成に使用しました。

対象者: 小牧市遺児手当受給者(入学年度前年度の1月1日において小牧市遺児手当を 受給しておりかつ小牧市に住民登録して1年以上経過している方)で、入学年 度の4月1日において進学しようとする子が25歳以下であること。

助成内容:支給対象者の子1人につき12万円

令和3年度支給実績:30名

【活用事業】夢にチャレンジ助成金支給事業 【事業費】501,706円

高校生、大学生、社会人等の夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業の一つとして、提案者がチャレンジしたい内容を自ら考え、公開プレゼンテーションを行い、審査を通過した企画の活動に対して必要な費用の一部を助成しました。



令和3年度より、この制度を将来活用していただけるよう、その契機として中学生を対象と した夢を語る発表の場「夢にチャレンジ発表会」を新たに開催しました。

〈令和3年度実績〉

○夢にチャレンジ助成金

助成限度額:30万円

採択内容:「ゴルフツアートーナメントへの出場資格獲得を目指して QT に挑む」

「教育改革!教育学生の全国行脚」

令和3年度交付決定件数:2件

○夢にチャレンジ発表会

応募者:6人

発表者:6人

【活用事業】大学生等海外留学奨学金支給事業

【事業費】523,780円

夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業のひとつとして、海外での学び、交流を通じ、 国際的な視野を持った人材育成を図るとともに、青少年の夢へのチャレンジを育む環境づく りを行うため、3か月以上留学しようとする大学生等に対し、奨学金を支給する事業の一部 を助成しました。 助成内容:留学先の国や地域に応じて、12回を上限に、月額4万~5万円支給

令和3年度交付決定件数:4件

【活用事業】こども夢・チャレンジ事業「プログラミング講座」

【事業費】80,000円

子どもたちがロボットの仕組みを学び、プログラミング の作り方を実体験することで、論理的に考え、実行して いく力を養うきっかけづくりとするために、デジタルの モノづくりを楽しく学ぶことができるプログラミング講 座実施事業の一部に使用しました。

対象:市内小学4年生~6年生

実施場所:中部大学

開催時期:令和3年10月23日~11月13日の土曜日

開催回数:全4回

参加者数:10名



【活用事業】特別教室空調機設置事業

【事業費】182,594,500円

音楽室、理科室、図工室、家庭科室などの特別教室に空調機を設置することで、1年を通じて快適な学習環境を提供するため、小学校(7校)の特別教室空調機設置工事の工事費の一部に使用しました。

<次世代・教育環境整備基金>

【活用事業】小牧南小学校改築事業

【事業費】2,108,800,000円

施設の老朽化や児童数の増加に伴う狭隘化を解消し、安心して学ぶことができる学習環境と快適に過ごせる施設環境を提供するため、小牧南小学校改築工事の工事費の一部に使用しました。



②お年寄りや障がい者にやさしいコース

⑥市長におまかせコース

(社会福祉基金へ積み立て)

【活用事業】ボランティア活動等助成事業

【事業費】10,575,000円

小牧市社会福祉協議会が行う、ボランティア活動をする人たちへボランティア保険料の助成や、在宅の寝たきり高齢者への紙おむつ配布などの地域福祉活動推進事業に対し、助成を行いました。

【活用事業】障害者施設整備補助事業

【事業費】2,869,462円

障害福祉施設等の整備を行う法人に対し、施設等の 整備費用を補助しました。



【活用事業】環境基本計画推進事業

【事業費】1,155,936円

子どもたちへの環境学習や、環境に関するイベント、地球温暖化対策地域協議会事業等の 活動費の一部に使用しました。

●地球温暖化対策地域協議会事業

温室効果ガス排出量削減への啓発や菜の花を使った資源循環型社会の体験学習等環境への取組を推進しました。

・菜の花フェスティバルの開催 岩崎地内にある菜の花畑において、自然に触れ合う イベントを開催しました。

開催日:令和3年4月10日

来場者数:約200人



菜の花フェスティバルの様子

・廃食用油の回収(月1回)

廃食用油(てんぷら油)を精製し燃料等にすることで、 ごみの減量や二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化 防止につなげることを目的に、市内3小学校において 廃食用油の回収を行いました。

回収量:6790

四权里,0130

参加者数:延べ437人



廃食用油の回収の様子

●過剰包装削減事業

・マイバッグ持参促進等に係る取組みの実施

環境フェアやワイワイっとまつり等のイベントにおいて、マイバッグ作製の講座を開催しました。

●環境情報誌作成事業

・こまき環境広報の発行

年2回環境広報を発行し、市内施設の外、小中学校・保育園等へ配布しました。

●環境家計簿普及事業

環境家計簿の普及、促進に向けた取組として、市内小学4・5年生及び中学1・2年生を 対象に夏休みの期間を利用し、エコライフチェックシートを実施しました。

回答者数:小学生2,396人 中学生2,344人 計4,740人

●環境フェア事業

・環境フェアの開催

実施日:令和3年11月6日

来場者数:約350人



環境フェアより丸太切りの様子

【活用事業】ごみ収集・再資源化事業

【事業費】182,085,681円

ごみの再資源化を推進するため、剪定枝類(枝・葉・幹・草・根・竹)をチップ、堆肥化 したり、雑がみをトイレットペーパーにするための処理委託費用などの一部に使用しました。

●剪定枝処理業務

令和3年度実績:1,356.570 t



剪定枝類を破砕する様子



破砕された剪定枝類

●雑がみ圧縮梱包及び保管業務

令和3年度実績:748.810 t





収集した雑がみによって作られたトイレットペーパー

④文化の薫るまちづくりコース (文化財保護事業基金および文化振興基金へ積み立て)

【活用事業】史跡小牧山整備事業

【事業費】56,997,600円

市のシンボルであり、織田信長、徳川家康ゆかりの地である小牧山の史跡としての価値や魅力の充実を図るため実施する、史跡小牧山整備事業の一部に使用しました。

史跡小牧山整備事業のうち、史跡小牧山主郭地区第5工区整備工事費の一部に使用しました。 この工事は、山頂の北側約1,180㎡について整備したもので、発掘調査において確認し た石垣の復元を主としています。





整備工事完了後の史跡小牧山主郭地区第5工区

⑤スポーツに親しむまちづくりコース

(スポーツ振興基金に積み立て)

令和3年度末時点で活用実績はなし。

令和4年度はスポーツ大会開催委託事業の事業費の一部に使用予定。